NO.

077

教育 子どもの遊びの大切さ

Why Children Need to Play

子どもに遊びが必要なわけ

英文の音声

レベル ★☆☆ 標準 | 291語 | 熟語12個 | 目標3分 | 読んだ日 | かかった時間 分 秒

1 Watch young children in a park, and you will see them ❶**pick up** sticks, turn boxes into castles, and invent games whose rules change every few minutes. To adults, this may look like a waste of time. Yet play is one of the most important ways children learn.

2 Children ❷**are curious about** everything around them, and play lets them explore that curiosity freely. When a tower of blocks falls down, a child has to ❸**figure out** why and try again. When friends argue about the rules of a game, they learn to listen and to compromise without any help from adults.

3 Many experts worry that modern childhood leaves too little time for this kind of free play. Busy schedules of lessons and cram schools can ❹**take away** the hours children once spent outdoors. Some parents also fear danger so much that they never let their children ❺**take a risk**, even a small one such as climbing a tree. Yet children who are never ❻**exposed to** any risk may not learn how to judge danger for themselves.

4 Adults still have a role, but it is often to ❼**look on** rather than to lead. A teacher who steps in only when one child begins to ❽**pick on** another gives children room to solve smaller problems on their own. It may also be better to ❾**praise a child for** trying hard than for winning, and not to ❿**punish children for** making a mess while they are building something.

5 Play ⓫**was never meant to** be a reward for finishing schoolwork. Children who are made to study all day may soon ⓬**lose interest in** learning itself. Those who are free to play, by contrast, often keep their love of discovery for the rest of their lives.

語注 **compromise** 歩み寄る・妥協する **cram school** 塾 **make a mess** 散らかす **by contrast** それに対して

この英文の熟語 IDIOMS 12個｜番号は英文の中の番号と同じ。覚えたら □ に印

1 pick up ~ ～を拾い上げる □□□

up＝持ち上げる。ほかに「（人を）車で迎えに行く」「（言葉などを）自然に身につける」の意味も頻出。代名詞は pick it up の語順 例 *She picked up the letter from the floor.* 彼女は床から手紙を拾い上げた。

2 be curious about ~ ～に好奇心を持っている □□□

何かを知りたくてたまらない気持ち。名詞 curiosity（好奇心）も重要。be interested in ~ より「知りたい」という気持ちが強い 例 *My little brother is curious about everything in the sky.* 弟は空にあるあらゆるものに興味津々だ。

3 figure out ~ ～を理解する・考え出す □□□

figure＝数字→計算して答えを出す→分かる。understand / work out / solve と言い換え可。目的語に why 節や how to ~ がよく来る 例 *I couldn't figure out how to open the box.* 私はその箱の開け方が分からなかった。

4 take away ~ ～を奪う・持ち去る □□□

away＝離れたところへ。物だけでなく時間・自由・痛みなどにも使う。take A away from B（B から A を奪う）の形も多い 例 *The new rule took away our freedom to choose.* 新しい規則は私たちの選ぶ自由を奪った。

5 take a risk 危険を冒す □□□

結果が悪くなるかもしれないと分かっていてやること。take risks と複数形も普通。run the risk of ~ing（～する危険を冒す）と区別 例 *You have to take a risk if you want to succeed.* 成功したいなら危険を冒さなければならない。

6 expose A to B A を B にさらす □□□

受け身 be exposed to ~（～にさらされる）が最頻出。危険・日光・外国語・新しい考えなど、よいものにも悪いものにも使う 例 *Don't expose your skin to strong sunlight for too long.* 肌を強い日光に長時間さらしてはいけない。

7 look on 傍観する・見守る □□□

手を出さずに見ているだけ。名詞 onlooker（見物人）も同じ発想。look on A as B（A を B と見なす）とは別の使い方 例 *The crowd looked on as the firefighters worked.* 消防士たちが作業するのを群衆は見守っていた。

8 pick on ~ ～をいじめる □□□

弱い相手を選んで（pick）しつこくからかう・責める。bully と同じ。pick up / pick out と前置詞の違いで意味が変わる点に注意 例 *Stop picking on your little sister.* 妹をいじめるのはやめなさい。

9 praise A for B B のことで A を褒める □□□

理由の前は for。admire A for B / thank A for B / blame A for B と同じ型でまとめて覚える 例 *The coach praised the players for their teamwork.* コーチは選手たちのチームワークを褒めた。

10 punish A for B B のことで A を罰する □□□

praise A for B の反対の意味。理由の前は for で、B に動名詞が来ることも多い。名詞は punishment 例 *The teacher did not punish him for being late.* 先生は彼が遅刻したことを罰しなかった。

11 be meant to do ～することになっている・～するためのものだ □□□

mean＝意図する。「本来～するはずのもの」という意味。be supposed to do に近い。過去形は was meant to do 例 *This room is meant to be used for quiet study.* この部屋は静かに勉強するためのものだ。

12 lose interest in ~ ～への興味を失う □□□

反対は take an interest in ~（～に興味を持つ）。interest には a を付けず、前置詞は in 例 *He lost interest in the game after a few weeks.* 彼は数週間でそのゲームへの興味を失った。

内容一致問題 QUESTIONS

英文を読んで、それぞれの問いに対して最も適切なものを 1〜4 から 1 つ選びなさい。

問1 第2段落で積み木の塔の例が示していることは何か。

① 子どもはすぐに遊びに飽きてしまうこと。
② 遊びの中で子どもは原因を考え、もう一度挑戦すること。
③ 積み木は大人と一緒に使うべきであること。
④ 子どもは失敗すると遊びをやめてしまうこと。

問2 第3段落の内容と一致するものはどれか。

① 木登りは危険なので、子どもにさせるべきではない。
② 現代の子どもは昔より外で遊ぶ時間が長い。
③ 習い事や塾は子どもの自由な遊びを増やしている。
④ 危険を全く経験しない子どもは、危険を自分で判断する力が育たないおそれがある。

問3 According to the passage, what should adults usually do when children play?

① Watch quietly and step in only when it is really necessary.
② Lead the games and decide the rules for the children.
③ Praise children mainly when they win.
④ Punish children who make a mess.

熟語チェック CHECK 意味に合う英語の熟語を書こう（答えは「熟語」のページ）

1	～を拾い上げる	2	～に好奇心を持っている
3	～を理解する・考え出す	4	～を奪う・持ち去る
5	危険を冒す	6	A を B にさらす
7	傍観する・見守る	8	～をいじめる
9	B のことで A を褒める	10	B のことで A を罰する
11	～することになっている・～するためのものだ	12	～への興味を失う

背景知識 子どもの「遊び」は、体力をつけるだけでなく、問題を解決する力、友達とルールを決めて守る力、自分で危険を見極める力を育てると考えられている。大人が決めた習い事とは違い、子ども自身が始めてやめる自由な遊びが特に大切だとされる。デンマークでは 1940 年代に、廃材や道具で子どもが自由に遊べる「冒険遊び場」が生まれ、日本にも「プレーパーク」として広がった。入試では「大人は口を出しすぎない」「危険を全部取り除くと逆効果」という主張がよく出る。

全訳 TRANSLATION 色の太字は熟語の部分

1 公園で幼い子どもたちを見てごらん。棒**を拾い上げ**、箱をお城に変え、数分ごとにルールが変わるゲームを考え出しているのが見えるだろう。大人には、これは時間の無駄に見えるかもしれない。しかし遊びは、子どもが学ぶための最も大切な方法の一つなのである。

2 子どもは身の回りのあらゆるもの**に好奇心を持っている**。そして遊びは、その好奇心を自由に探らせてくれる。積み木の塔が倒れると、子どもはなぜ倒れたのか**を考え出し**、もう一度挑戦しなければならない。友達とゲームのルールをめぐって言い争うとき、子どもたちは大人の助けを一切借りずに、相手の話を聞き、歩み寄ることを学ぶ。

3 多くの専門家は、現代の子ども時代にはこうした自由な遊びの時間が少なすぎると心配している。習い事や塾で予定が詰まり、子どもたちがかつて外で過ごした時間**が奪われて**しまうことがある。また、危険をとても恐れるあまり、木登りのような小さなものでさえ、子どもに**危険を冒させ**ない親もいる。しかし、一度も危険**にさらされた**ことのない子どもは、危険を自分で見極める方法を学べないかもしれない。

4 それでも大人には役割がある。ただしそれは多くの場合、先頭に立って導くことよりも**見守る**ことだ。ある子がほかの子**をいじめ**始めたときにだけ割って入る先生は、小さな問題を子どもたちが自分で解決する余地を残している。また、勝ったこと**で**子ども**を褒める**より頑張ったことで褒め、何かを作っている最中に散らかしたこと**で**子ども**を叱ら**ないほうがよいかもしれない。

5 遊びは、宿題を終えたご褒美として**意図された**ものでは決してない。一日中勉強させられる子どもは、やがて学ぶことそのもの**への興味を失って**しまうかもしれない。それに対して自由に遊べる子どもは、発見する喜びを一生持ち続けることが多いのである。

要旨 自由な遊びは子どもの好奇心や問題解決力、危険を見極める力を育てる。大人は導くよりも見守り、遊びを勉強のご褒美ではなく学びそのものとして大切にすべきである。

解答・解説 ANSWERS

問1 2 **問2 4** **問3 1**

問1 正解 2 根拠は第2段落の When a tower of blocks falls down, a child has to figure out why and try again（塔が倒れると、子どもはなぜかを考え出し、もう一度やってみなければならない）。よって 2 が正解。1 の「飽きる」は書かれていない。3 の大人と一緒に使うべきだという話はなく、むしろ without any help from adults と大人の助けなしの学びを強調している。4 は try again と正反対の内容である。

問2 正解 4 根拠は第3段落最終文の children who are never exposed to any risk may not learn how to judge danger for themselves。これを言い換えた 4 が正解。1 は木登りを「小さな危険」の例として挙げ、それさえさせない親を問題にしているので筆者の考えと逆。2 は too little time や the hours children once spent outdoors から、外遊びの時間は減っていると分かる。3 も習い事や塾は遊びの時間を奪う（take away）ものとされているので誤り。

問3 正解 1 根拠は第4段落の it is often to look on rather than to lead と、A teacher who steps in only when one child begins to pick on another（いじめが始まったときだけ割って入る先生）。見守って必要なときだけ介入するという 1 が正解。2 は rather than to lead に反する。3 は勝ったことより頑張ったことを褒めるほうがよいとあるので逆。4 も散らかしたことで罰しないほうがよいと述べているので誤り。